

自動車・モータ関連の金型部品や半導体の吸着部品などの仕事量が急拡大 「角モノが得意。求められる寸法精度は±2・5ミクロン以内」

直近の売り上げはマイスター全体で10%、15%アップしている。国井マネージャーは「部品加工分野でも、最近の5年間で仕事量が急拡大している。自動車のモータ関連の金型部品が多く、次いで半導体のアクチュエータやコンデンサの吸着部品関連などが占める。当社は「角モノ」を得意としており、



コレット技術には高い評価が下された



月間15時間稼働する松浦機械のMAM72-35Vには、総計100本のスーパーG1チャックが装着されている

ピピらず、面粗度もアップ
総計130本のスーパーG1チャック採用

山形のマイスターと言えは工具の再研磨グループを牽引する切削フオラム21を代表する企業として、業界でその名を知らない人はいない。が、もうひとつの柱として、自動車や半導体関連の部品加工分野でも、実績を積み重ねている。国井製造マネージャーを訪問し、ユキワ精工のスーパーG1チャックを切り口としながら、部品加工分野での特長を紙面化した。

寸法精度の厳しいニーズにも対応できている点が評価に繋がっていると考へている。自動車関連部品は車種ごとに異なる。この結果、ロット数は1個2個単位で、種類は何十種類とある。求められる寸法精度は±2.5ミクロン以内。溝の仕上げでは、ワイヤ放電のみならずマシニングセンタも活用している。一方、半導体関連は20年来、働させており、小ロットへの対応は、工夫の連続で

ていくか。無人運転を可能とする設備導入、ボトルネックの洗い出し、CADをはじめ、専門分化へのトライアルなど、いろんな側面から取り組んでいる。特に無人運転の追求では2年前に松浦機械の5軸加工機「MAM72-35V」を導入した。「32パレット装填され、ツール本数では160本を数える。1日15時間稼働させており、小ロットへの対応は、工夫の連続で

「従来のツーリングではできなかった横挽きが可能となり、機械のリワークの期待を語った。国井マネージャーは、トリアルとして、ロボドリルに同じ工具スタックを特殊なサイドロッド対応のツーリングも手掛けて頂ければ、と思う。今後とも、長き相談相手にならうと語った。

ニールにも通じていく新たな「発見」とまで言えるものだった。ピピらず、しかも面粗度もアップした。穴あけ加工のみならず、ロボドリルで対応できる選択肢が増えたことは、当社の現場にとって画期的な変化だった。現在、スーパーG1チャックは、スピードデイトに2面拘束仕様で30本、MAMには100本装填されている。



ロボドリルで横挽きが可能になったと語る 国井マネージャー

残業時間をいかに減らしていくか
機械の無人運転追求、ボトルネックの洗い出し、専門分化へのトライアル...

ワークは手のひらサイズの小さいものが多い。ロボドリルでは不可能だった横挽き加工が可能に。国井マネージャーの従事するスタックは30番主軸の機械ではエンドミルは使えない。加工では、機械と刃物が大切で、ツーリングはあまり意識していません。加工では、機械と刃物が大切で、ツーリングはあまり意識していません。加工では、機械と刃物が大切で、ツーリングはあまり意識していません。

「2014年のフレーザー工業スピーディオ導入時に、ユキワ精工さんの営業マンの方が来られ、ツーリングを試して欲しいと提案された」と言う。国井マネージャーは、トリアルとして、ロボドリルに同じ工具スタックを特殊なサイドロッド対応のツーリングも手掛けて頂ければ、と思う。今後とも、長き相談相手にならうと語った。

「従来は、工場の連続で新しい「発見」とまで言えるものだった。ピピらず、しかも面粗度もアップした。穴あけ加工のみならず、ロボドリルで対応できる選択肢が増えたことは、当社の現場にとって画期的な変化だった。現在、スーパーG1チャックは、スピードデイトに2面拘束仕様で30本、MAMには100本装填されている。

国井製造マネージャーに聞く「スーパーG1チャック」評価
マイスター(山形・寒河江市) 訪問

高精度ツーリングシステム
スーパーG1チャック



精度をとことん突き詰めると、コレット式に辿り着く



ユキワだけ精度を保証！
しています。

YUKIWA ユキワ精工株式会社
スーパーG1チャック 検査
http://www.yukiwa.co.jp/

本社・工場 / 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111 (代) FAX.0258-81-1112
営業所 / 東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.